

## 各イベント開催内容

8/19

### 第2回親子サマーフェスタ

と き 8月19日(日) 13:00~16:00  
 と ころ ヒューマンわーくびあ徳島(徳島市昭和町3丁目35-1)  
 主 催 (社)徳島県労働者福祉協議会  
 問合せ先 ☎088-625-8387  
 参加費 無料  
 参加人数 180人

概要 「～いのちの大切さ、かぞくの絆を考える～」をテーマとして、四国労働金庫やNPO法人壮生、フレッセ、NPO・ボランティア団体の協力のもと第2回「親子サマーフェスタ」が開催され、親子連れなど約180名が参加しました。

小松 義明会長の主催者挨拶の後、徳島県労働雇用課の新居 清一課長より来賓挨拶をいただき開会しました。

風船匠じよにいさんによるバルーン実演のほか、親子工作教室、こどもカメラマンによる親子撮影会、おもちゃ病院、絵手紙、徳島シャボン玉を飛ばす会によるビッグシャボン玉など様々なイベントが行われ、子ども達は大喜びでした。

「夏休みの思い出(絵画)」は46作品の応募がありました。選考により幼児の部、小学校低学年の部、小学校高学年の部それぞれの部門ごとに最優秀賞1作品、優秀賞3部作品、頑張ったでしょう3作品が決まり、11月3日の県民と働く者のとくしまフェスタ2012開会式典にて表彰式が行われました。

#### 《主な出演・出展団体》

バルーン	風船匠じよにいさん
ビッグシャボン玉	徳島しゃぼん玉を飛ばす会
親子工作教室	フレッセ
親子陶芸教室	だいやま陶芸村
おもちゃ病院	おもちゃ病院
絵手紙	ストップ・DV・サポートの会
コーヒー・ジュース	ボランティア友の会ひまわり
フリーマーケット	リサイクルショップ a・ya
〃	わか堂
	ほか



10/27

### ★徳島県の公契約条例・公共サービス基本条例をめざすフォーラム

と き 10月27日(土) 13:00~17:00  
 と ころ 阿波観光ホテル  
 主 催 公契約条例・公共サービス基本条例の制定をめざす徳島県実行委員会

共催 良質な公共サービスの確立を求める徳島県連絡協議会他  
後援 一般社団法人徳島新聞社、四国放送株式会社、NHK徳島放送局  
問合せ先 ☎088-655-4105  
参加費 無料  
参加人数 250人  
概要 <基調講演>

テーマ：公契約規整の意義と課題  
講師：弁護士（多摩市公契約審議会会長）古川景一さん  
<報告>

テーマ：「政策入札制度とは何だろう～大阪エル・チャレンジの実践から～」  
講師：大阪知的障害者雇用促進建物  
サービス事業協同組合代表理事 富田一幸さん

<フリーディスカッション>

コーディネーター：鳴門教育大学教授 山本準さん

### 【開会】

10月27日、徳島市の阿波観光ホテルで、公契約条例・公共サービス基本条例の制定をめざす徳島県実行委員会主催による「徳島県の公契約条例・公共サービス基本条例をめざすフォーラム」が開かれ、徳島県内自治体関係者・自治体議員、経営者団体、労働組合など、約250人が参加した。

冒頭主催者を代表し河村実行委員長（連合徳島会長）は、本フォーラムの開催意義を述べたうえで「私たちの暮らしは公共サービスと切り離すことは出来ず、公共サービスが暮らし全般をカバーしている。しかし近年、公共サービスが劣化し、格差拡大や貧困など深刻な社会問題となり、地域経済も疲弊するという問題が徳島県でも生じている。加えて公契約条例には、業者間のダンピング競争を防ぐ効果があるため、受注者にもメリットがある。また労働者の生活安定、公共サービスの質の向上、ひいては地域経済・地域社会の活性化にも繋がる」とあいさつした。

### 【基調講演：古川景一さん】

続いて基調講演として、多摩市公契約審議会会長である古川景一弁護士から、「公契約規整の意義と課題」をテーマに講演が行われ、条例を制定している多摩市やその他先進自治体の事例を挙げながら公契約規整の定義や方法等について講演した。

講演の中で古川さんは「公契約規整とは、公契約を通じて社会政策上の目標を実現させることが定義である。簡単に言えば、受注者が契約の中に、労働者に支払う賃金を決定し約束をさせることによって、賃金支払い義務がでてくる。逆に言えば約束をしない人には行政側が発注しないということ。また受注者の自由な意思決定による規整でもあり、統治権に基づく公権力的な上から規整ではなく、受注者の営業の自由を侵害するものでもない。また労働者側も受益意思表示がないと権利が発生しない」とした上で、公契約規整とは条例を作っただけでは機能しないと指摘した。

また、公契約規整で実現を図る社会政策として、「公契約の業務に従事する就労者の労務報酬に関して、建築業で賃金相場の下落を防ぎ歯止めをかけるという大き



な役割がある。注意しなければならないのは、賃金を引き上げる目的ではなく、歯止めを掛けることが基本的な役割。次に生活保護支給水準を下回らない賃金水準の確保。更には低賃金を背景にしたダンピング受注の防止が大きな目的である」と説明した。

最後に条例を作る主体については、「自治体によって様々であり方程式はない。条例制定に向け、1人でも2人でも真剣に考える担当者が配置できれば、必ず条例は制定できる。加えて、条例制定を進めていく上で、労働組合と事業者団体の連携・協力が不可欠である。また自治体職員のやる気も重要。事業者を説得して貰わないと前に進まない」と信頼関係、協力協同関係が必要で、協力をしないと条例は機能しないと結んだ。

#### 【報告：富田一幸さん】

次に報告として、大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合の富田一幸代表理事から、自らが取り組んでいる「政策入札制度」について報告を受けた。

冒頭、富田さんは、知的障害者の雇用が進んでいない状況で、いかに障害者の働く場を設け、どのように作っていくのかを模索する中で、これが原点となり事業協同組合を起ち上げた経緯について説明を行った。「まずは大阪府と話し合いの場を持ち、随意契約によるゼロコストで2千万円の掃除現場で毎年5人、他の企業に送り込む職業訓練校をつくることを提案。随意契約なので公益的な法人を作らなければと、事業協同組合を当時通産省の中小企業協同組合法に基づいて作った。現在では65の職場に障害者を送り込み、3億円の事業高、10年で1,300人ほどの障害者を受け入れ、現在約500人が職場で働いている」としたうえで、「当時、訓練した障害者を雇って貰う必要があった。しかしダンピングが横行し八方ふさがりに。そんな時総務省から、最低制限価格、低入札価格調査価格、総合評価入札が通達され導入された。そして総合評価入札をやろうと思った。しかしビルメンテナンス（以下：ビルメン）業界に労組はなかったので、そこで働く労働者のアンケートを実施。解雇の問題など様々な問題が浮き彫りになった。その後、自治体ビル管理契約研究会を開催し、行政、自治体議員等に参加して貰い、どのような総合評価でどんな採点方法がいいのか議論を行った。その結果、2004年に日本で初めて大阪で、総合評価一般競争入札制度が出来た。その後、ビルメン業界と良い関係が構築でき、障害者就労支援スタッフ養成講座を私たちと共同で開催することになった。これが自治体や医療法人、福祉法人に広がり総合評価入札となった」と説明した。

これらを踏まえ、2011年から事業者団体、障害者団体、福祉団体で入札改革を訴えていこうと政策入札研究フォーラムを開催していることを紹介。フォーラムでは価格で競うのではなく、雇用を競う総合評価入札、労働者の教育費を設計労務単価に計上し、加えて家賃を積算する就労支援費込労務単価などを訴え、地域社会の中に入札を通じて企業を育てる、福祉を育てることを重点に「育てる入札」に力を入れていることを紹介した。

最後に富田さんは「ビルメン産業は3.5兆円産業、200万人を雇用している。そのうち20パーセントは公共調達。500万人の雇用を生み出せる産業でもある。公共は公契約でもあるが、ソーシャルマーケットの一員。公共は株式会社ではない。公共サービスはまた同時にソーシャルマーケットの一員なんだという自覚を持って欲しい」としたうえで、「福祉と雇用、産業の三位一体こそ、悪循環を変えられる。労働組合と福祉・NPO、ビルメン産業が協働できれば大きな力が発揮できる」と

締めくくった。

### 【フリーディスカッション】

鳴門教育大学教授の山本準さんをコーディネーターに、多摩市公契約審議会会長・弁護士の古川景一さん、大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合代表理事の富田一幸さんの2人がコメンテーターとしてフリーディスカッションを行った。



フリーディスカッションでは、あらかじめ会場に質問箱を設け、出された質問・意見に基づき進められた。

質問・意見については、運輸業界、建設業界、自治体関係団体などから出され、コメンテーターが答える形式で行われた。なお、出された主な質問については下記のとおり。

①「トラック産業は1990年の物流2法で始まった規制緩和により、新規参入事業者間で過当競争が一段と厳しくなった。徳島においても400社を超えるトラック事業者があるが、過当競争が激化して、事業者の経営努力だけでは、経営さえも危ぶまれ、倒産や事業を閉鎖する企業は少なくないので結局同業者間のダンピング競争になってしまう。また、過積載や労基法を無視し運転をさせている事業者も少なくない。そのような事業者をどう防いでいくのか。公共入札の場合に、安全性優良事業所はきちんと評価されてもいいのではないか」

②「工事入札で、入札・落札にかかっている制度としては、最低価格制度や総合評価方式が概ね設定されているが対象となる工事金額は、概ね3,000万円以上である。逆に3,000万円以下の入札については価格競争となり、労働者の賃金・労働条件や公共サービスの質が確保されるのか様々な問題が推測される。また業務委託の入札制度については、最低価格制度や総合評価方式などの設定が工事入札制度より遅れており、総合評価方式を設定しているのは、徳島県内では2つの自治体しかない。さらに業務委託金額が3,000万円以下がほとんどで、総合評価方式などの入札制度の対象外となることから、業務委託の入札はほとんど価格競争となっている。徳島県内では、自治体規模が小さいだけに、業務委託の入札が価格競争になることが予想される。このような入札制度の実態のもと、入札制度外におかれ価格競争となる入札に対し、どのようにすれば公契約条例がより有効性を発揮するのか」

③「公契約条例は労働者の労働条件を守るための条例であるが、優良企業を守るための条例でもあると考えている。現行の制度では不良企業がダンピングで仕事を取り、自分の利益だけを確保し、その後のしわ寄せを下請けや労働者に押しつけるような事態が横行しているのが現状。このような現状を打開するためにも、実際に企業経営者から条例制定を求める声が寄せられている。しかし一方では労働者を守ることで経営が苦しくなるのではとの声も聞かれる。実際に経営者にとっての影響、効果はどうか」

④「公共工事の現場で実際に起こった件だが、国からの指示で各地方整備局を通じて各自治体に対し『舗装の切断作業時に発生する排水処理については適正な処理を実施しなさい』という事務連絡が出され、この中には『工事積算にあたっては、適正な工事費用を計上する』とあるが、現場では末端の下請け業者に処理はさせるが『工事費用が積算に入っていることを聞いていないので知らない』と言われたケー

スがあった。条例が制定された場合、このようなケースはなくなるのか」

最後に山本コーディネーターから「公共だから出来ること、公共だからしなければならぬことを、念頭に置きながら、将来ビジョンをしっかりと決定し、住民と一緒に良い地域を作り上げていくことが重要である」とまとめた。

#### 【まとめ・閉会】

最後に藤岡副実行委員長（徳島県公務労協議長）から、「公共工事が大きく激減し、その中でダмпिंगの横行、自治体が発注する工事や業務に競争入札を通じて、不安定で低労働条件の労働者が増加し、公共サービスの質も低下してきた。そのような中、2009年に日本で初めて千葉県野田市で条例制定されたのを契機に、各自治体で条例制定の動きが広がってきた。その上で、この徳島でも公契約条例の意義と課題を理解したうえで、事業者や労働組合を含めて協力しながら、条例制定が出来ないものかと問題提起し、この間取り組みを進めてきた。古川さんからは、公契約とは公権力規整ではなく、受注者の自由な意思決定に基づく規整、・規範を整えるということ。当面の課題として、それぞれの地域にあった公契約条例を作っていく努力が必要で、労働組合や事業者団体、首長、議会、自治体職員の協力、協働が必要だということ。労働者側も意思表示がないと権利も発生しないことを多摩市の事例もあげながら講演いただいた。富田さんからは自治体の入札制度を通じて、雇用という社会的価値を高め、どう活用していくのか、障害者雇用の促進を就労支援ということで進めているということ、総合評価方式における労務単価に就業支援単価を上乗せできないかという問題提起をもとに、今日の活動を進めている報告をいただいた」とまとめたうえで、公契約条例の意義は、「公共サービス提供にあたって、公契約に従事する労働者の労働条件を一定水準を設けること、加えて自治体が適正な競争環境を整えるということ。そのことによって公共サービス自体の質や安全を確保し、元気な地域を作っていきたいと思っている。そのためにも本日のフォーラムを契機に、自治体や事業者、労組を含めて協力しながら地域づくりのために条例制定に協力していただきたい」と結び、フォーラムを終了した。

10/27～11/11

### みかん狩り in 勝浦

と き 10月27日（土）～11月11日（日）

と ころ 勝浦町内の観光みかん園

井戸端みかん園、勝浦観光壺園、パイロット松下園

主 催 徳島中央ライフサポートセンター

協 賛 県民と働く者のとくしまフェスタ2012

徳島県労働者福祉協議会 四国労働金庫徳島支店 全労済徳島県本部

問合せ先 ☎088-623-4105

参加費 大人400円（通常700円）、小人（小学生）200円（通常450円）

幼児（3歳以上小学生未満）100円（通常350円）の優待料金

参加人数 208名

概 要 10月27日（土）から11月11日（日）までの16日間、「県民と働く者のとくしまフェスタ2012」の一環として、県民の皆さんが家族やグループでみかん狩りを

楽しめるイベント「みかん狩り in 勝浦」を行いました。10月11日（木）から優待券の配布を始め、98名の方に504枚配布しました。（一人平均約5枚）期間中、優待券利用者は208名と多くの皆さんが勝浦町内の観光みかん園でみかん狩りを楽しみました。



アンケート結果から、一部の観光みかん園の状況ではありますが、利用者の市郡別状況は、徳島市の方が約6割、鳴門市、小松島市の方が2割弱、大人・子供・幼児の内訳は、大人が7割、子供が2割、幼児が1割となっています。また、約9割の方が「イベントに参加し良かった。」特に、「親子で楽しむことが出来た。」等と回答しており、家族の絆を深め、満足して楽しんでいただきました。

11/2

### ★徳島若者交流の日～とくしま遊ばんDay！応援事業 体育館でプチ運動会での出逢い

と き 11月2日（金）18:45～20:45

と ころ とくぎんトモニプラザ

主 催 SUDATIラボ

協 賛 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会

問合せ先 ☎088-612-7151

参加費 男性3,500円 女性2,500円

参加人数 13名（男性7名、女性6名） 22歳～40歳までの独身男女対象

概 要 二人三脚、ムカデ競走、バットまわり、大縄跳び、○×クイズ等、短い時間で行うプログラムは限られていましたが、参加者は思う存分学生気分を味わいました。カップルも4組が成立しました。協賛金はカップルになった方々へのプレゼントや参加賞、スタッフの増員に活用させていただき、参加者の方々の満足度が非常に高いイベントとなりました。



バレーボール



大縄跳び

11/3

### 県民と働く者のとくしまフェスタ 2012 開会式典 & 第5回わーくびあフェスタ

と き 11月3日（土）10:00～15:00

と ころ ヒューマンわーくびあ徳島5階大ホール

主 催 (社)徳島県労働者福祉協議会  
 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会  
 問合せ先 ☎088-625-8387  
 参加費 無料  
 参加人数 開会式典 90 名  
 わーくぴあフェスタ 180 名



【オープニングアクト】  
和太鼓つづみ座 “虹”



主催者挨拶



テープカット

【来賓】

県商工労働部 酒池由幸部長  
 市経済政策課 森 久寿課長  
 徳島労働局 金内 久労働基準部長



第2回親子サマーフェスタ  
「夏休みの思い出」作品展



NPO法人・福祉事業団体による模擬店  
(おにぎり、焼きそば、ポップコーン等)



わーくぴあの森ブース



素人のど自慢大会



絵手紙教室



うたごえ広場

開会式典では、オープニングアクトの和太鼓演奏の迫力と子どもたちの熱演に、参加者は大きな拍手を送っていました。熱気冷めやらぬなか、労福協の小松義明会長、実行委員長の河村和男連合会長が主催者を代表してあいさつしました。ご来賓の方々からは「県民と働く者のとくしまフェスタ」と名称を改め、さらに広く県民が参加できるイベントへと発展することを期待する趣旨のメッセージをいただきました。

素人のど自慢では、25名の出場者が自慢ののどを披露し、たくさんの拍手を浴びていました。絵手紙講座やドングリを使ってトトロの置物をつくる「わーくぴあの森」ブースでは、若い方々や子ども連れのご家族が思い思いの作品をつくっていました。出店コーナーでは、準備した食品や商品が売切れ、終了1時間前に片付けを始めるブースもありました。

終了後には、プレゼントの鉢花を受け取りながら、「楽しかった」「一日たっぷり遊びました」と声をかけてくださる方もいて、主催者としてたくさんの方に秋の一日を楽しく過ごしていただけたことを嬉しく思いました。

《素人のど自慢大会 結果》

1 位 石倉 佳代      2位 松岡 美和      3位 山口チエ子  
特別賞 四宮 国一      佐藤エスペランザ      佐藤 ちる  
         武田 修      森 美津子

11/3

★徳島若者交流の日～とくしま遊ばんDay！応援事業  
ときめきパーティー

と き 11月3日（土）18：00～20：00  
と ころ リヴァージュテラス ブランアンジュ  
主 催 J A徳島市・徳島市農業委員会  
共 催 J A徳島市青壮年部  
協 賛 リヴァージュテラス ブランアンジュ  
県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会

問合せ先 ☎088-622-6338

参加費 男性6,000円 女性3,000円

参加人数 109人（男性58人、女性51人） 20歳～45歳までの独身男女対象

概 要 本事業は、J A徳島市青壮年部（農業後継者達の部会）の未婚者に、出会いの場を提供し、昨今の後継者不足問題を緩和させる事を目的とし、開催しました。



【形 式】

- ① 受付時にくじ引き形式で、男女別々の番号が決定
- ② 番号ごとの男女入り混じったテーブルに着き、席でプロフィールカードを記入
- ③ 乾杯の挨拶、ビュッフェスタイルの食事開始（30分間）
- ④ 席替え開始  
5分毎に男性だけがテーブルを移動し、会話  
男性が全てのテーブルを回り終えるまで続ける
- ⑤ フリータイム（話したい相手と自由に会話）
- ⑥ 気に入った相手の番号を投票用紙に記入し投票
- ⑦ スタッフが投票用紙を集計、カップル成立結果を発表（食事券プレゼント）
- ⑧ 終わりの挨拶、ときめきパーティー終了

【成立カップル】 10組

【協賛金の使途】

カップルになった10組に、会場であるブランアンジュの食事券をプレゼントしました。

【P R】

参加者全員に「県民と働く者のとくしまフェスタ」のチラシを配布し、ときめきパーティーでも司会者から、県民と働く者のとくしまフェスタのPRとなるような内容の情報提供を行いました。



11/3

### ★徳島若者交流の日～とくしま遊ばんDay！応援事業 美食を楽しみながらの婚活パーティー

と き 11月4日（日）19：00～21：00  
と ころ ギャラリー白川  
主 催 NPO 法人 ご縁倶楽部  
協 賛 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会  
問合せ先 ☎088-656-5730  
参加費 6,000円  
参加人数 31名（男性16名、女性15名）



概 要 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供する目的で  
開催しました。

当初は男女10人ずつの20人の予定でした。しかし、希望者を断わり切れず人数が多くなりました。当日、2組のカップルが誕生しました。テーブルコーディネーターからすべてアットホーム的な手作りパーティーで評判がよく、次回開催の折にもぜひ参加したいとの希望の声もありました。

冒頭の主催者あいさつの折に、本事業が県民と働く者のとくしまフェスタ協賛事業であることを述べ、出席者にチラシを紹介しました。

11/5

### 第20回労働者福祉メーデー

と き 11/5（月）13：30～16：00  
と ころ 徳島グランヴィリオホテル  
主 催 (社)徳島県労働者福祉協議会 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会  
問合せ先 ☎088-625-8387 ☎088-655-4105  
参加費 無料  
参加人数 90名

概 要 基調講演「若者の雇用と課題」

講師：安永 貴夫 氏

日本労働組合総連合会副事務局長（若者雇用戦略対話委員）

事業紹介「若者支援事業(地域若者サポートステーション)」の取組みについて

報告：古本 文代 あわ地域若者サポートステーション所長

2013年度労働者福祉に関する重点課題について

提言：藤森 申二 徳島労福協専務理事

第20回労働者福祉メーデー宣言採択

提案：板東喜代子 連合徳島副事務局長・徳島中央LSC所長

※同時開催 徳島県はぐくみ支援表彰企業53社のパネル展示

第20回労働者福祉メーデーが徳島グランヴィリオホテルにおいて開催されました。小松 義明労福協会長の主催者代表挨拶、徳島県、徳島市の来賓挨拶の後、連合副事務局長で内閣府若者雇用戦略対話メンバーの安永 貴夫氏による基調講演が行われました。

「若者の雇用と課題」と題された講演では、まず、大学卒業者に占める安定的な雇用についていない者の割合が22.9%であるなど若者の雇用をめぐる現状から、企業、教育機関、行政それぞれの視点から見た問題提起がなされました。政府の雇用戦略対話において、キャリア教育の充実や若者のキャリアアップの支援、雇用のミスマッチの解消が重点的に議論され、若者の育ちを社会全体で支援していくことを引き続きワーキンググループで検討していることについて説明がありました。



企業には良質な雇用を創出する、組合には働き続けられる環境を整備する、行政には若者に投資する、地域には連携を深める役割があり、若者を包摂した成長のためにも取り組んでいこうと力強く締めくくられました。

続く事業紹介では、労福協あわ地域若者サポートステーションの古本 文代所長から、国の地域若者サポートステーション事業の概要や、とくしま・あわ両地域若者サポートステーション事業、若者支援ジョブスタとくしまの通所型支援事業の詳細な報告がありました。

2013年度の労働者福祉に関する重点課題については、藤森 申二労福協専務理事より提案され、最後に板東喜代子徳島中央ライフサポートセンター所長が第20回労働者福祉メーデー宣言案を読み上げ、全員の拍手をもって採択され閉会しました。

11/18

## ゆとり・癒しのウォーキング -紅葉と温泉の祖谷溪谷-

と き 11月18日(日) 第1組 8:30~、第2組 10:00~

と ころ 三好市池田町・西祖谷山村

主 催 徳島西部ライフサポートセンター

共 催 連合徳島西部地域協議会、四国労金池田支店・鴨島支店推進委員会、  
全労済徳島県本部

後 援 三好市

問合せ先 ☎0883-72-8611

参加費 無料

参加人数 133名(第1組 53人、第2組 10km 9人/3km 50人、スタッフ 21人)

概 要 今年度は例年より少し多めの申込者がありました。開催前日に大雨となり、合羽に染み透る滴を避けながら、受入先への挨拶廻りと道しるべの取り付けを終えました。

当日は打って変わって雲ひとつない大晴天となりました。気温は10度前後に冷え込んでいましたが、絶好のウォーキング日和になりました。祖谷溪谷の紅葉も真っ盛りで、数年ぶりに見事なものでした。

池田からバスに分乗してウォーキングコースに移動。道中でお弁当をほおぼったり、写真に納めなが



らのゴールイン。そこからは、かずら橋やモノライダー、周辺の散策、そして温泉に入っのくつろぎと時間を惜しみながら時を過ごしました。再びバスで池田に戻って「お疲れさまでした」メニュー。

9時出発の第1組と10時30分出発の第2組があり、第2組に子どもさん向けの3kmコースを一昨年から導入したのですが、今年は第2組のほとんどがこれらの皆様に占められました。子どもさんにとっての「ゆとり・癒し」になっているのでしょうか。

念には念を入れて備えを整えたことで、参加された皆様には大いに楽しんでもらえたウォーキングの一日でした。



11/20

### ファミリー・ふれあい・フェスティバル

- と き 11月18日(日) 9:30~16:00
- と ころ あすたむらんど徳島
- 主 催 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会 (社)徳島県労働者福祉協議会
- 共 催 あすたむらんど徳島
- 問合せ先 ☎088-625-4105
- 参加費 無料
- 参加人数 5,925人
- 概 要
- \*開会あいさつ 10時30分~10時40分
  - \*取り組み紹介 10時40分~11時10分(午前の部)
  - \*キャラクターショー(仮面ライダーウィザード) (11時30分~)
  - \*取り組み紹介 13時30分~14時00分(30分)
  - \*キャラクターショー(仮面ライダーウィザード) (14時30分~)
  - 秋のあすたむオリエンテーリング(10時~16時)
  - あそびのワンダーランド(11時~14時)
- } (あすたむらんど徳島提供)
- ◇模擬店 ・東日本大震災復興支援物販(岩手・宮城・福島の商品を販売)
- ・労働相談、生活相談(四国労金、全労済に依頼)
  - ・ホットドッグ、フライドポテト他飲食物
  - ・綿あめ、飲み物販売

家族の日の11月18日、「親子で楽しもう、家族の日ー家庭と地域の絆を深める日」をスローガンに、ファミリーふれあいフェスティバルを開催し、寒風が吹く中、総入場者数5,925人(昨年4,818人)を集約しました。キャラクターショー効果もあつてか、会場はあふれんばかりの観衆で埋め尽くされ、子どもたちの歓声が響き渡りました。

また、東日本大震災復興支援として、岩手・宮城・福島の特産品も販売。なお、今年の総括を踏まえ、



労働福祉関係団体の活動（取り組み）アピールや労働相談・生活相談ブースも設け、多くの家族連れが訪れました。

11/23

### ★東日本大震災・被災者支援チャリティゴルフ大会

- と き 11月23日（金）  
と ころ タカガワ東徳島ゴルフ倶楽部（名西郡神山町阿野齒ノ辻 499）  
主 催 全労済徳島県本部  
共 催 四国労働金庫徳島営業本部  
問合せ先 ☎088-625-2340  
参加費 1人1,000円  
参加人数 45人
- 概 要 2012年11月23日（金）にタカガワ東徳島ゴルフ倶楽部において、13団体45名の参加にて開催しました。
1. 結果（競技方法：ダブルペリア方式）  
優 勝 三原 靖弘（林自動車）  
準優勝 深見 浩司（大真空）  
第3位 中野 満美
  2. チャリティー募金  
チャリティーホール（14番）を設定して、ワンオンできなかった方と3パット以上の方にチャリティー募金をお願いしました。結果として、上記以外の方も募金していただき、41,000円の募金が集まりました。
  3. チャリティー募金の寄付  
チャリティー募金額41,000円と参加費より運営費用を差し引いた額28,200円の合計69,200円については、四国労働金庫を通じて入金（募金）しました。
  4. 運営について  
今回の大会は、四国労働金庫徳島営業本部から支援をしていただき、全労済徳島県本部が主催して開催しました。

### 第17回「自然とふれあう健康ウォーク」

- と き 11月18日（日）9:30～12:00  
と ころ 阿南市スポーツ総合センター（サンアリーナ）  
主 催 徳島南部ライフサポートセンター（阿南市七見町下川田 100-1 番地）  
共 催 連合徳島南部地域協議会  
問合せ先 ☎0884-24-9501  
参加人数 約330名
- 概 要 当日は、天候にも恵まれ「イベント」の呼びかけ等を阿南市公報及び主な事業所・施設等に配布したためか、開始前より参加者が集まり準備していた「抽選券」「参加賞」が不足するのではないかと心配する程多くの勤労者及びその家族の参加がありました。



イベントの内容は、従来通り4キロ超のウォーキング、子どもの宝探し、参加者全員対象の抽選会を行い、330名余りの参加者の中から『東京ディズニーランド家族一泊旅行券』は、子どもさんが射止めました。

なお、子どもの宝探しの景品の残ったお菓子は、市内の児童福祉施設にお渡ししました。



11/22

### もう一度学ぼう 糖尿病シリーズ①～基礎編～

と き 11月22日(木) 13:30～15:30  
と ころ ヒューマンわーくびあ徳島 305号室  
主 催 特定非営利活動法人 壮生  
問合せ先 ☎088-625-6999  
参加費 無料  
参加人数 19人  
概 要 講演「糖尿病の基礎知識と発病のメカニズム」  
講師 保健師 近藤直美さん

徳島県では、1993年から2006年まで「糖尿病死亡率全国ワースト1位」を記録しました。2005年11月に「糖尿病緊急事態宣言」を発し改善に取り組んできました。その結果、糖尿病での死亡率は一時的に改善されました。3年前に開催した健康セミナーで糖尿病をテーマに「シリーズ①基礎編(糖尿病どのような病気か、なぜ徳島県患者が多いのか)」、「シリーズ②食事編(糖尿病を予防するための食事等)」、「シリーズ③運動編(糖尿病の予防に効果的な運動)」を学びました。



しかし、近年では再び上昇に転じ、また全国ワースト1位に逆戻りしました。

そこで今年度は、「もう一度学ぼう糖尿病」をテーマに健康セミナーを開催しました。参加された皆さんは、「糖尿病ってどんな病気」、「血糖値ってなに」、「血糖値の上昇を抑えるインスリンの働き」などの「糖尿病の基礎知識と発病の4大原因(加齢、遺伝、肥満、運動不足)」、「糖尿病が引き起こす3大合併症(神経障害、網膜症、腎症)」を講師の保健師さんから学びました。そして、この病気の恐ろしさを改めて認識するとともに、「糖尿病は自己管理で何とかできる病気」であることも学びました。

12/21

### キャンドルナイト「いのち」を灯そう！

と き 12月21日(金) 20:00～22:00  
と ころ ひょうたん島めぐり乗船場  
主 催 ストップDV・サポートの会

問合せ先 ☎070-5680-3822

参加費 無料

参加人数 200名

概要

100万人のキャンドルナイトに今年も参加させていただくことをお願いし、成功に向け、事前準備として、ガラスビンに2012年11月までに持ち寄ることにしました。そして、11月・12月と数回にわたり約100個のビンに初めての試みとして色付けを実施しました。

今年は、吉野川事件と同じ日の12月21日になり、あの忌まわしい事件を二度と繰り返さないようにとの追悼の意味がより深まりました。今年場所は、「新町川ひょうたん島クルーズ」の乗り場付近で開催され、「冬至・100万人のキャンドルナイト」のスタッフが、竹筒に点灯をしていましたが、あいにくの雨で苦労されていました。私たちは、設置したテントの中に「ストップDV」の文字を模りました。約100個のガラスビンの中のキャンドルに火を点けるのには手間取りましたが、役員総出で幾つも次々と火を灯していきました。「ストップDV」という文字が鮮明になると、一同感嘆の音が沸き起こり、色づけしたビンが輝き、何とも言えない「暖かさ」と「安心感」が拡がり、「命の尊さ」を訴えることができました。雨の中でしたので、道行く人もテントの中までは見ていただけなかったのが残念でしたが、今回は特に、色付け提案をした担当者が試行錯誤を繰り返しただけに感激も一入で、成功裏に終えることができました。



2013/3/20

### あい♥あいフェスティバル

とき 2013年3月20日(水・祝) 9:30~16:00

ところ あすたむらんど徳島 芝生広場

主催 (財)徳島県勤労者福祉ネットワーク  
県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会

共催 徳島県立あすたむらんど

問合せ先 ☎088-655-2940

参加費 無料

参加人数 4,388名

概要

“いつでも、どこでも、だれでも”が利用できる勤労者の総合福祉を推進し、子育て支援をサポートするファミサポ交流会を中心に開催したフェスティバルも朝早くから多くの人で賑いました。オープニングセレモニーでは、当財団の取り組みなどを説明し、子育て支援ブース・移動販売車・出店の30店舗前では列をつくり、フェスティバルを盛り上げました。11時からの「忍たま乱太郎キャラクターショー」テレビ子ども向け英語番組でおなじみの「エリックさんの英語ショー」では大地を揺るがすおおきな笑い声と、拍手となり大盛況の内に1日が過ぎ、多くの来場者に当財団の事業についても知っていただく機会となりました。



毎月第1金曜日は徳島若者交流の日～とくしま遊ばん Day！

11月18日(日)は家族の日

11月11日～24日(日)は家族の週間

毎週水曜日はノー残業デー